

テクニカルノート

SYPRO® Rubyとの染色性の比較

マウス肝臓抽出物(総タンパク量30 μ g)を、一次元目はpH3-10の等電点電気泳動、二次元目は12.5%TのSDS-PAGEにて分離し、MS用銀染色キット、SYPRO® Rubyタンパク質ゲル染色(Lonza、50562)の標準プロトコールに従って染色を行いました。

一般に銀染色では染色性が悪いとされる塩基性タンパク質でも SYPRO® Ruby染色より多く検出することができました。

